

いづこ祭もくしと賀つた大御神より神く是をぞ
鷹人の祭もなるべし事ども也叔かる鳥八巢を作る
る也多く春の八十八夜をさうひやく卯うひをれする
もの依る事此部より春のめと

もれするもやさく迎く鳥をれするものも此よりな
古語云夏の迎くあるとるをさくはるもぞさうのめを
ちるもさくはるも又或鷹書の間答なるもさくひのさく
答曰雉子の雄鳥を申也忘るひや八ぬきさるをめを
さうふべし此さくひとるを雄子の事とるもさくはる
祝とも成べしと君侯ひさるものもさくはるもさくはる